

## 2008年2月期 決算説明会

## 経営成績について

	連結			
	実績	前期比	公表数値	公表差
取扱高	2兆7,567億円	111%	2兆8,500億円	932億円
営業収益	1,810億円	104%	1,850億円	39億円
営業利益	328億円	80%	410億円	81億円
経常利益	330億円	81%	412億円	81億円
当期純利益	176億円	86%	207億円	30億円

	単独			
	実績	前期比	公表数値	公表差
取扱高	2兆4,112億円	111%	2兆5,000億円	887億円
営業収益	1,215億円	97%	1,300億円	84億円
営業利益	196億円	65%	276億円	79億円
経常利益	222億円	70%	286億円	63億円
当期純利益	141億円	79%	162億円	20億円

2

## 財政状態について

	連結		単独	
	実績	期首増減	実績	期首増減
総資産	8,620億円	278億円	6,537億円	166億円
割賦売掛金	2,873億円	265億円	2,179億円	207億円
営業貸付金	5,143億円	72億円	3,933億円	77億円
純資産	1,833億円	107億円	1,426億円	62億円
自己資本比率	18.9%	0.3%	21.8%	0.4%

3

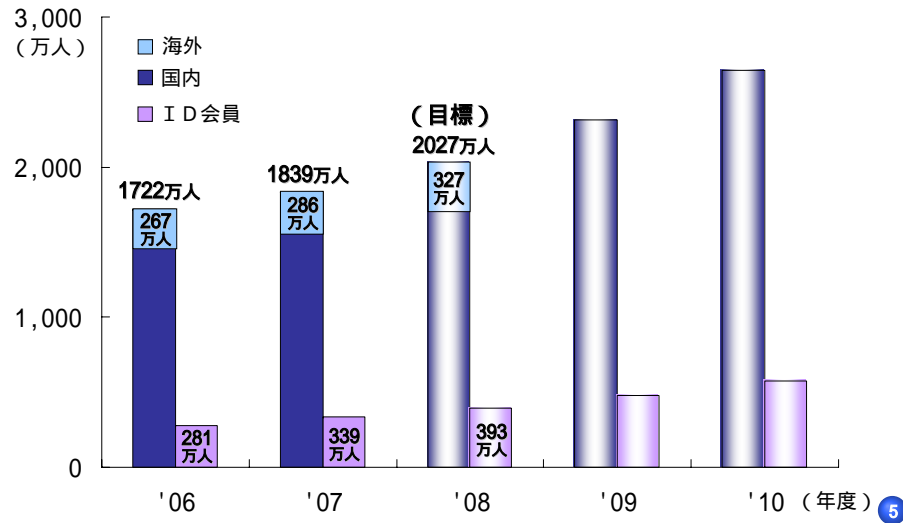
## 配当金の状況

	2007年2月期 配当実績	2008年2月期 配当	2009年2月期 配当予定
中間配当金	15円	15円	15円
期末配当金	20円	25円	25円
記念配当	5円	-	-
年間配当金	35円	40円	40円
記念配当	5円	-	-
連結配当性向	30.5%	35.5%	40.0%

4

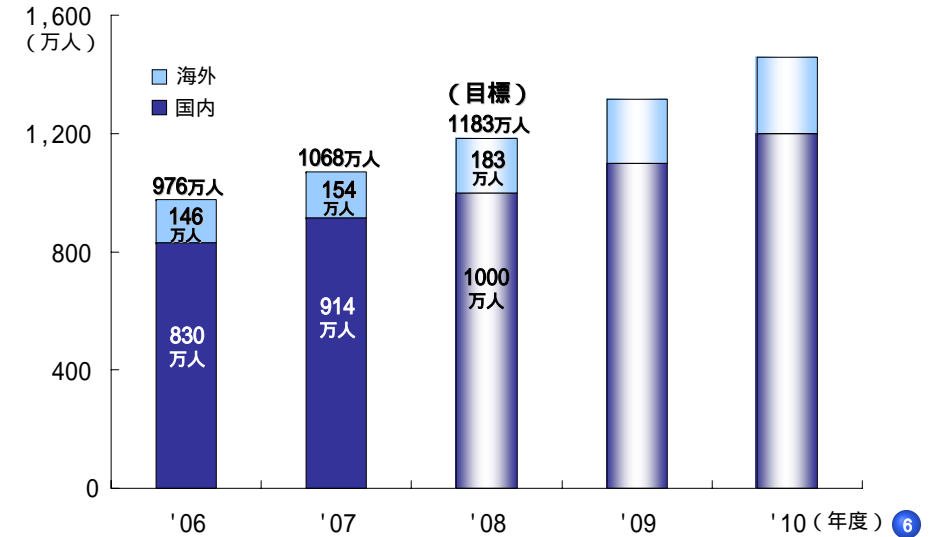
## 連結有効会員数の推移

連結有効会員数1839万人(117万人増)、単独会員数は1553万人(98万人増)に拡大



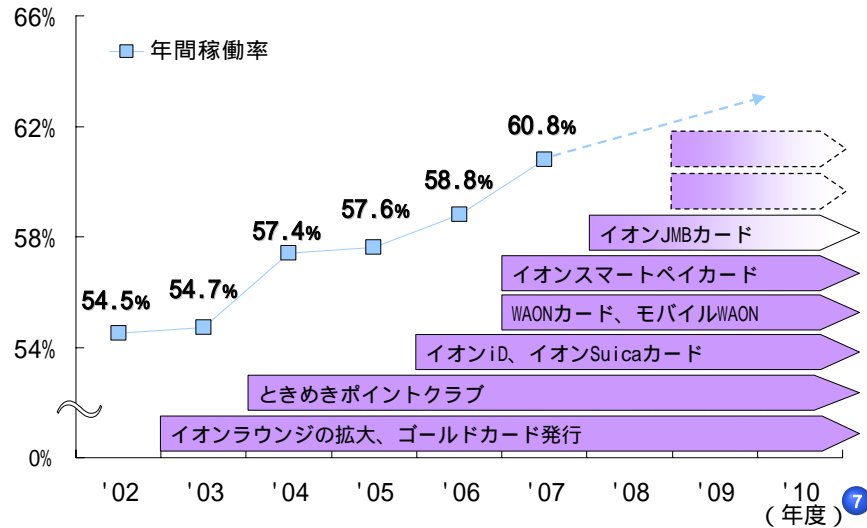
## 連結稼働会員数の推移

連結稼働会員数1068万人(92万人増)、単独稼働会員数914万人(84万人増)に拡大



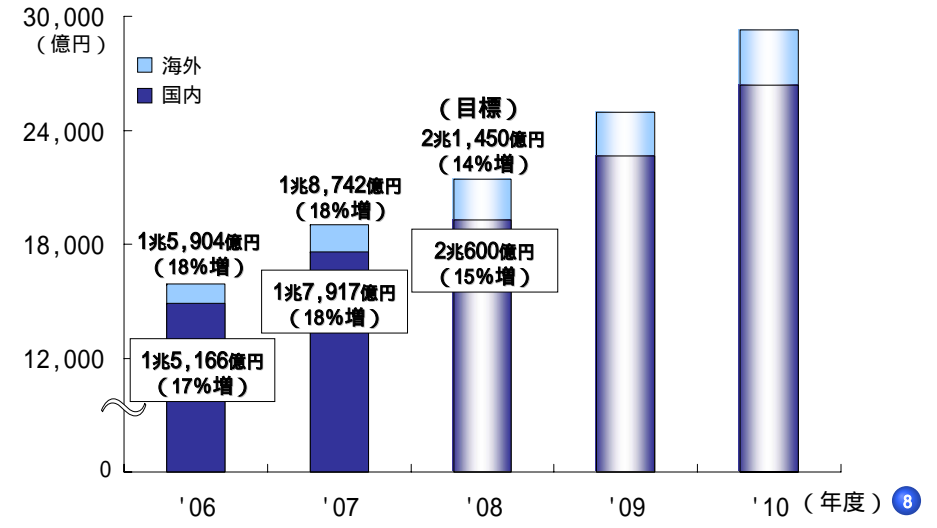
## 年間稼働率の上昇

継続してカード機能・特典を強化したことにより年間稼働率は  
前期比2ポイント上昇の60.8%に向上



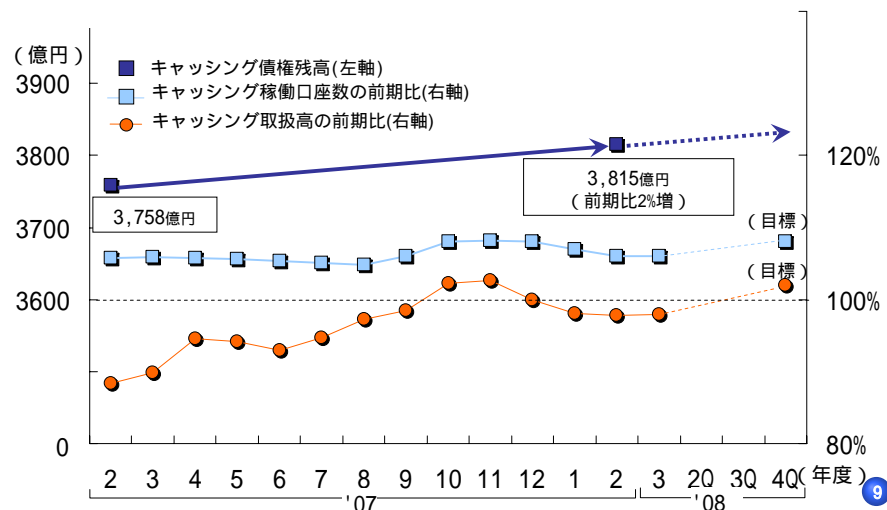
## カードショッピング取扱高推移

有効会員数、稼働会員数の増加により、カードショッピング取扱高は、  
1兆8,742億円(前期比18%増)と高い伸びを継続いたしました



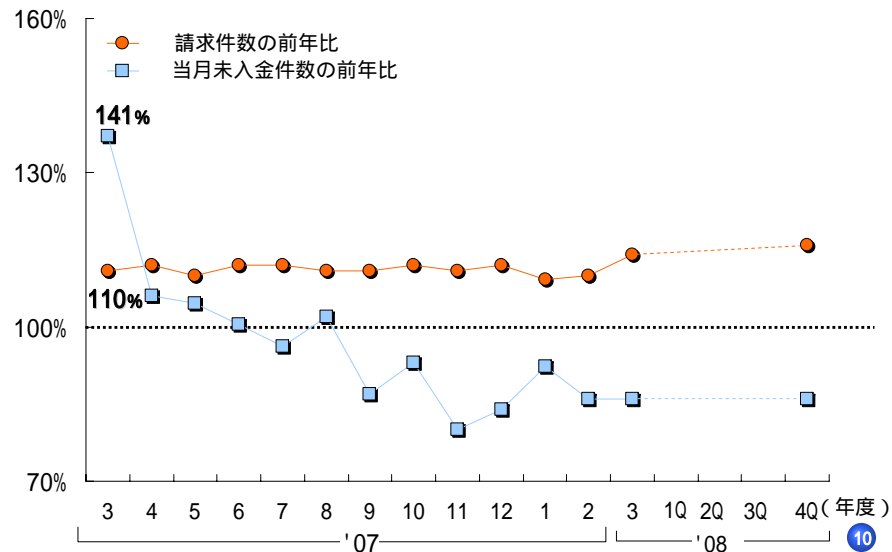
## キャッシングの状況（単独）

キャッシング稼働口座数が着実に増加した結果、キャッシング残高は、3815億円（前期比102%）となりました



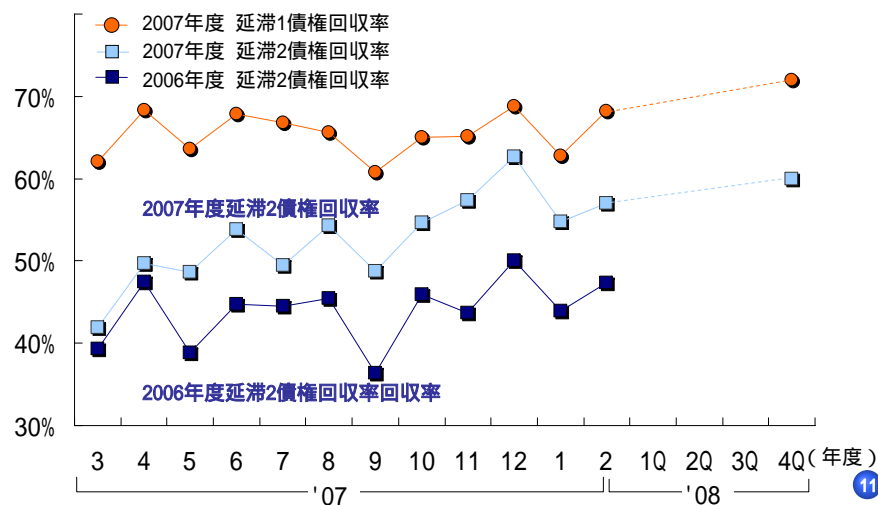
## 請求件数と当月未入金件数の推移

請求件数は毎月前期比13%増加に対し、当月未入金件数は毎月減少



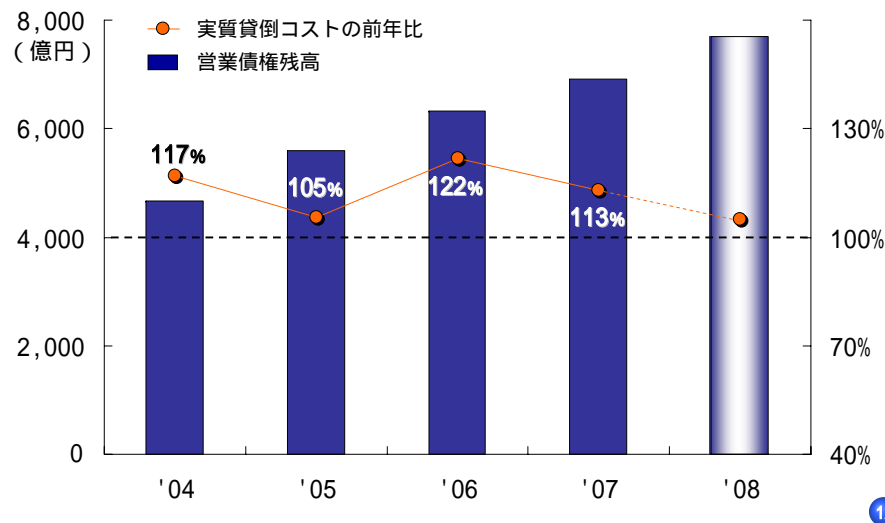
## 延滞回収率の推移

期首より債権管理体制を強化した結果、延滞債権の回収率が着実に向上



## 実質貸倒コストの状況

債権残高は順調に増加。実質貸倒コストの伸び率は低下



## 貸倒引当金の状況

### < 貸倒引当金 >

	2007年2月期	2008年2月期
期首貸倒引当金	226億円 (14億円)	335億円
期中引当繰入額	265億円	268億円
貸倒償却額	142億円	191億円
期末貸倒引当金	335億円	426億円 (14億円)

### < 貸倒引当金の内訳 >

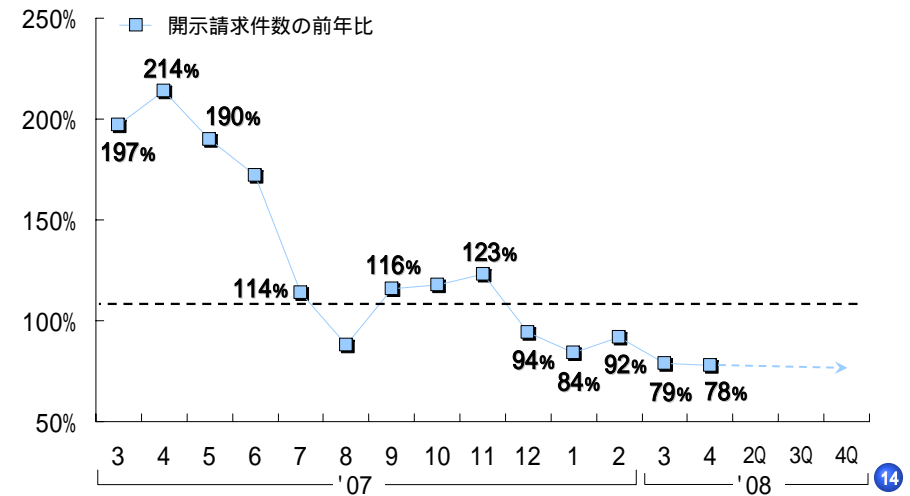
	2008年2月期
個人破産	全額償却済み
延滞3ヶ月以上 法的整理債権	356億円
一般引当金	70億円
合計	426億円

2007年2月期の期首貸倒引当金は期末利息返還損失引当金への振替額14億円を含んでおります。  
2008年2月期の期末貸倒引当金はACSファイナンスの吸収合併により引き継いだ貸倒引当金残高14億円が含まれております。

13

## 利息返還の開示請求件数の状況

昨年4月をピークに開示請求件数は減少傾向にあり、12月より前年度を下回る件数で推移。2008年度も継続して減少



14

## 利息返還損失引当金の状況

### < 利息返還請求引当金 >

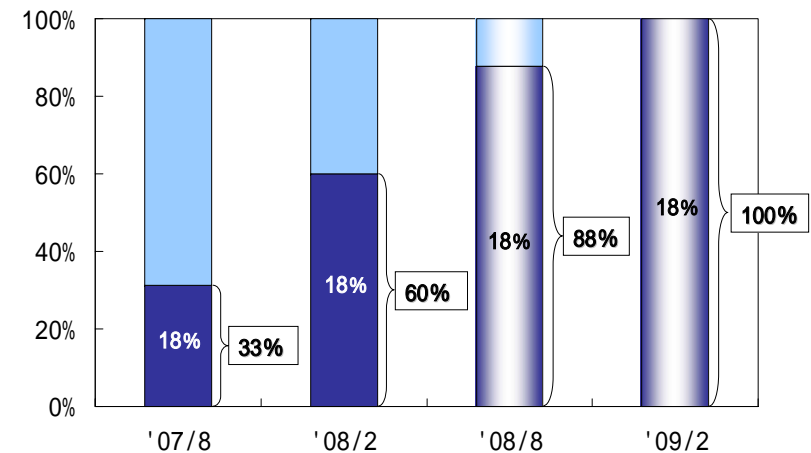
	2007年2月期	2008年2月期
期首利息返還損失引当金	2億円	69億円
利息返還損失引当金繰入額	71億円	64億円
キャッシュアウト・元本充当額	18億円	49億円
期末利息返還損失引当金	69億円	85億円

2007年2月期の利息返還引当金繰入額には特別損失24億円を含んでおります。  
2007年2月期の期末利息返還損失引当金には期首貸倒引当金からの振替額14億円を含んでおります。

15

## 「貸金業法への対応」 新しい金利への移行

今期中に、18%金利への移行完了



16

項目	具体的な対応
貸付書面交付	マンスリーステートメントにて対応済
帳簿の閲覧受付	全支店・営業所にて対応可能
返済期間	従来より返済期間2年程度に設定
回収行為	架電回数・時間をシステムにて制御済み
所得証明取得	50万円超借り入れ希望者から取得
貸金業取扱主任者制度	重点教育の実施
信用情報機関への照会	完全実施に向けてシステム構築中
利用可能枠の設定	

17

## 2008年度 重点実施事項

### 現主力事業の強化

1. 新たな顧客層の開拓
2. 提携カード戦略の強化
3. ゴールドカードの推進
4. リボルビング払いの推進

高格付けを活かした有利な資金調達

	R & I	J C R	S & P
国内	A +	A +	A -

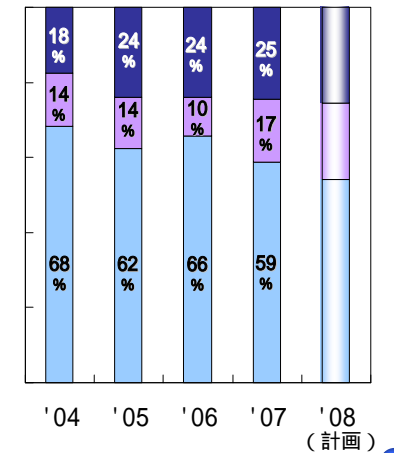
2008年も長期固定比率70%を維持を計画  
直接調達比率の上昇を計画

	長期固定比率	債権流動化枠
2007年度	70%	800億円



	長期固定比率	債権流動化枠
2008年度	70%	1,600億円

社債 流動化実施額 銀行借入



18

## 1. 新たな顧客層の開拓

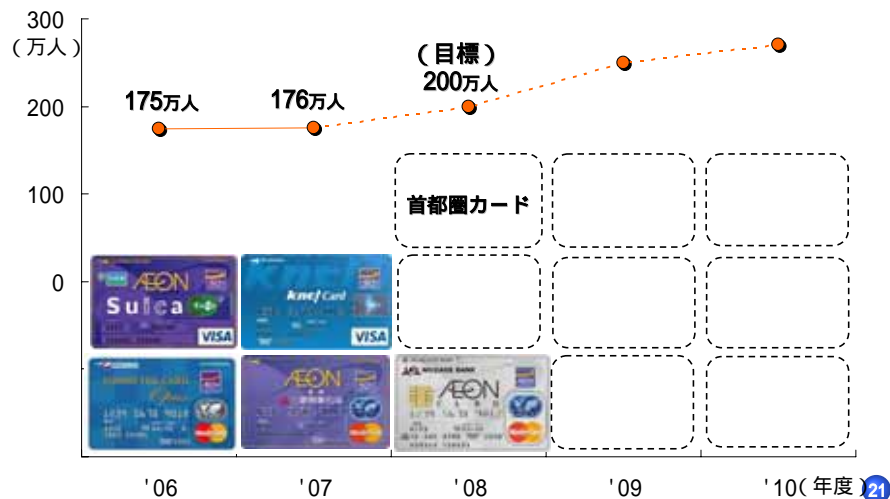
男性・若年顧客・首都圏をターゲットとした提携カード発行を強化

	イオンカード	コスモカード	イオンSuicaカード	イオンJMBカード
実績				
男性比率	24%	62%	42%	43%
20代比率	6%	15%	15%	19%
首都圏比率	16%	25%	68%	41%

20

## 2. 提携カード戦略の強化

新たな顧客層拡大に向けて、提携カード戦略を強化することで  
年間募集のステージを175万人から200万人に拡大。



## 3. ゴールドカードの推進

年会費無料のゴールドカードの特典をさらに強化  
今期は23万人増の80万人を計画

<イオンラウンジ>



現在95ヶ所から110ヶ所へ拡大

<空港ラウンジ>



羽田・中部国際・関西国際に展開

<イオンSuicaカード>

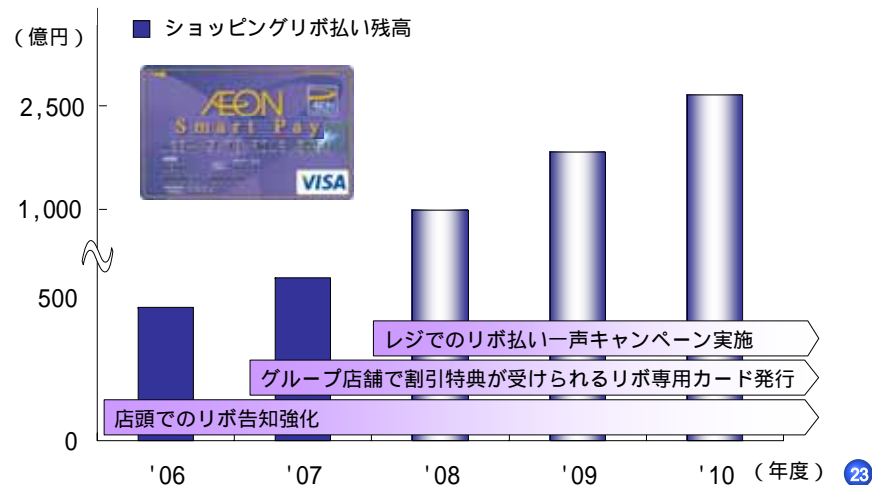


<イオンJMBカード>



## 4. リボルビング払いの推進

キャッシング収益を補うために、グループを挙げてリボルビング払いの推進強化



## 新たな収益源の確立

1. 電子マネー事業の拡大
2. ギフトカードの本格展開
3. 銀行代理業の取組強化
4. ネット事業の強化
5. 保険代理店事業の強化
6. サービサー事業の強化

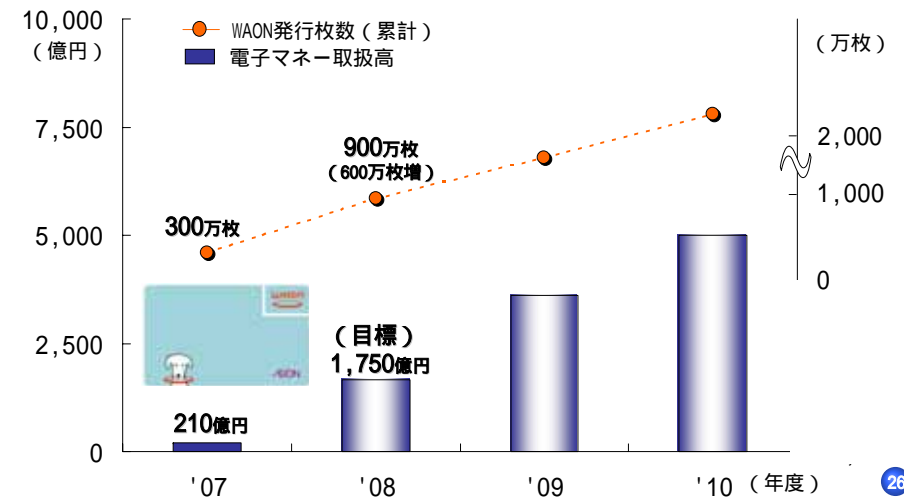
# 1- 電子マネー事業の拡大

3月より全国展開を開始。JALとの提携をはじめグループ外への展開を強化

	2007年度		2008年度		2009年度
	第1フェーズ		第2フェーズ		第3フェーズ
WAON発行	イオン・当社	イオン銀行	イオンJMB	三井住友WAON	
加盟店	グループ内 関東		グループ外 コンビニエンスストア ファーストフード スーパーマーケット		地域展開 役所 官公庁
アクワイアリング	iD・Suica	PASMO	ICOCA	外部電子マネー	

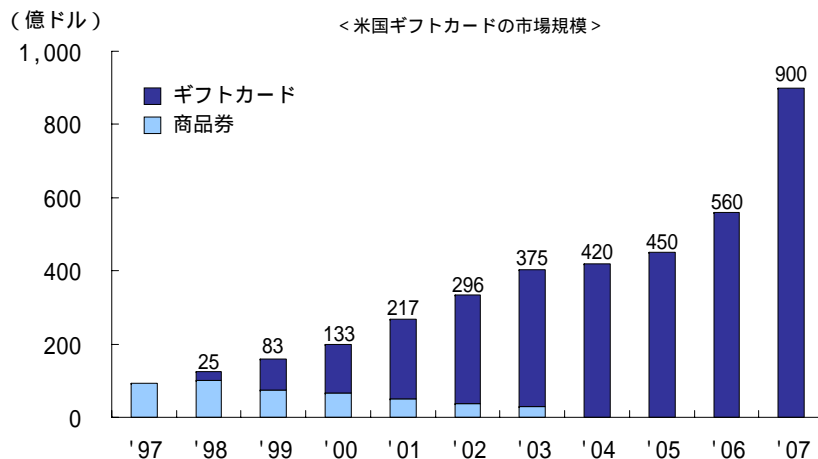
# 1- 電子マネー事業の拡大

600万枚増の累計900万枚、取扱高1,750億円を計画



# アメリカのギフトカード市場

米国のギフトカード市場は、2000年対比で7倍に拡大



数値は、ギフトカードの発行額を表しております。なお、2004年以降の商品券発行データはございません。  
グラフは、「Faulkner&Gray調査」等より当社作成

# 2. ギフトカードの本格展開

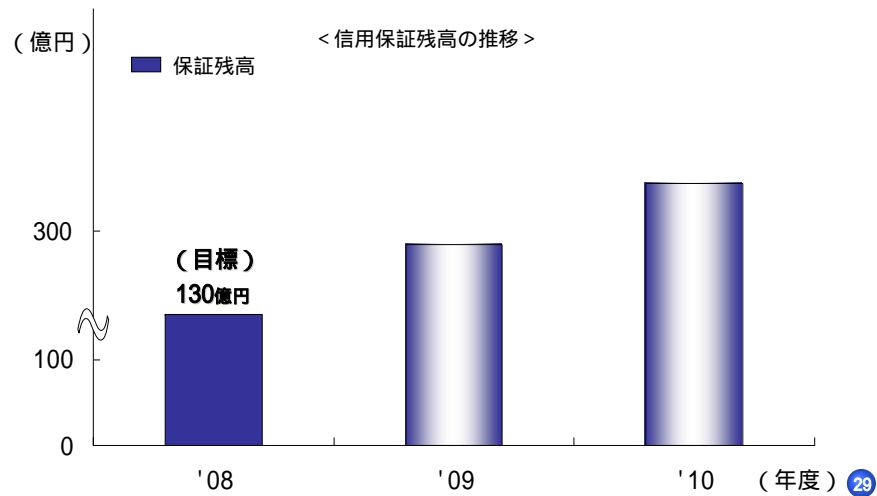
流通系カード会社の強みを活かし、ギフトカード事業を本格的に展開

第1フェーズ	第2フェーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>導入時期：2007年12月開始</li> <li>利用場所：イオングループ店舗</li> <li>チャージ：使い切り型</li> </ul> <p>&lt;イオンギフトカード&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発行者：当社単独発行開始</li> <li>利用場所：友好企業へ展開</li> <li>チャージ：繰返し入金方式</li> </ul> <p>&lt;当社単独発行&gt;</p>



### 3. 銀行代理業の取組強化

口座募集や、銀行ローンの信用保証事業を開始  
 クレジット・口座一体型のスーパーキャッシュカードの発行を計画



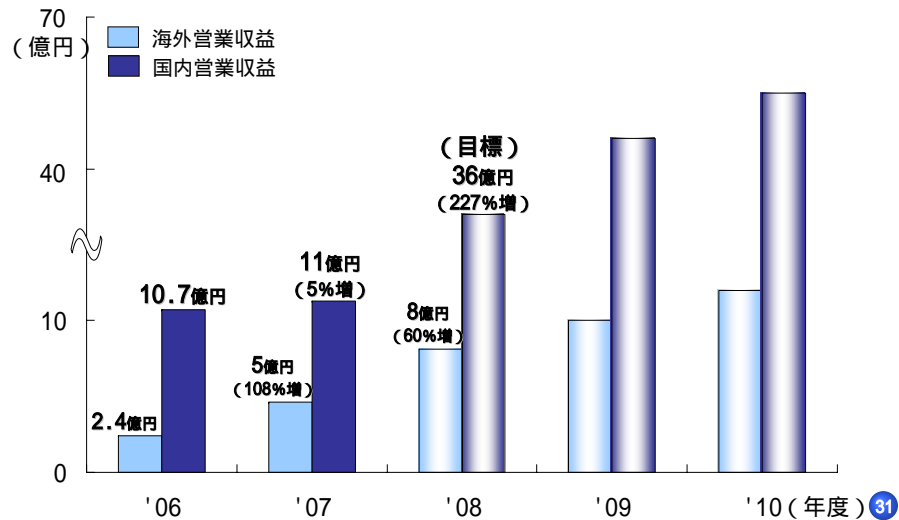
### 4. ネット事業の強化

イオンレジにおける決済機能を拡充し、ネット事業を強化

	~2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
	第1フェーズ	第2フェーズ	第3フェーズ	第4フェーズ
・クレジット				<交通系>
・コンビニ入金				<独立系>
・銀行振り込み				
・代金引換決済				

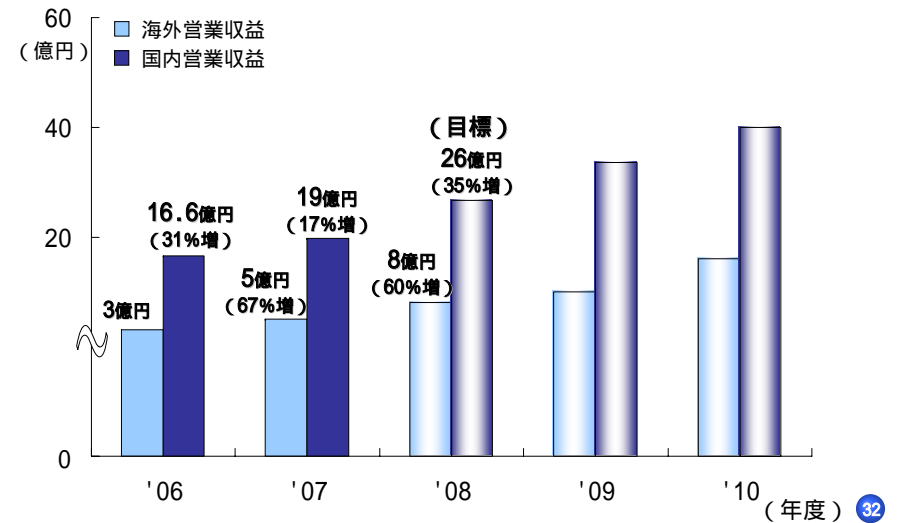
### 5. 保険代理店事業の強化

WEB、ダイレクトメールの展開に加え、  
 保険ショップ16店舗（累計60店舗）を開設し、収益を拡大



### 6. サービス事業の強化

今期は国内サービス営業収益26億円（前期比35%増）、  
 海外サービス営業収益8億円（60%増）を計画



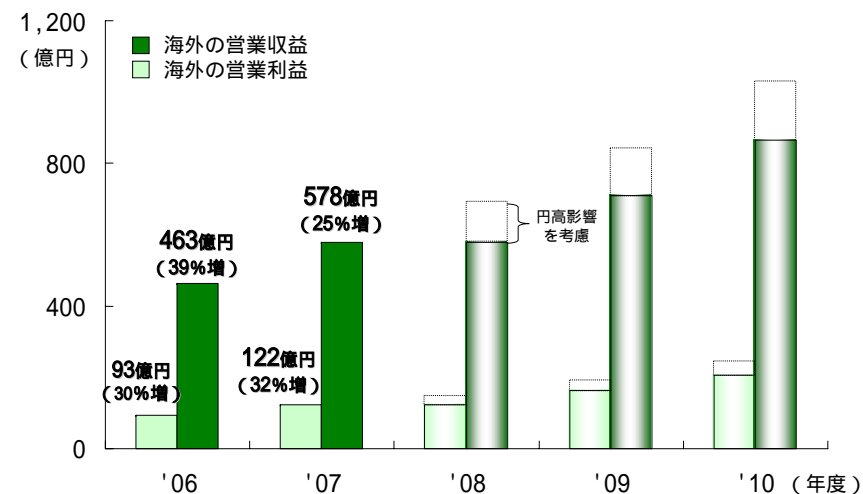


## 海外事業の拡大

1. タイ
2. 香港
3. マレーシア
4. 台湾
5. インドネシア
6. 中国
7. 海外事業の拡大

## 海外事業の業績推移

海外の営業収益は578億円(前期比25%増) 営業利益は122億円(前期比32%増)

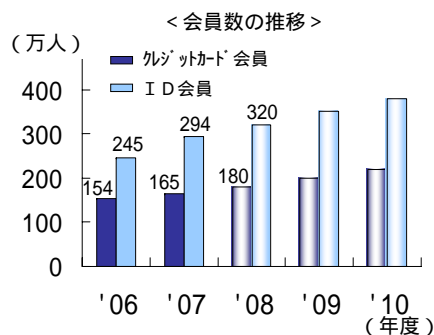


## 1. タイにおける事業

2008年2月期 営業概況

- ・サービサー会社、生命保険代理店会社を設立し、クレジット周辺事業を拡大
- ・クレジットカード会員が165万人に拡大

	実績	前期比	円換算
営業収益	92億62百万バーツ	117%	338億円



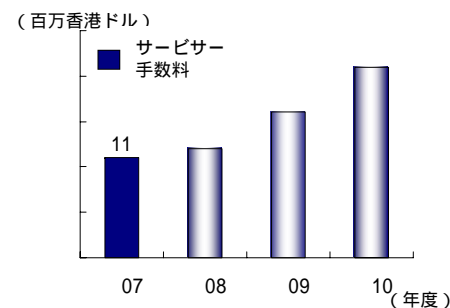
## 香港における事業

2008年2月期 営業概況

- ・会社設立20周年
- ・中国へ後方業務の移管を完了
- ・サービサー事業、保険代理店事業の強化

	実績	前期比	円換算
営業収益	12億 4百万香港ドル	105%	179億円

<サービサー事業の業績推移>



<保険代理店事業>

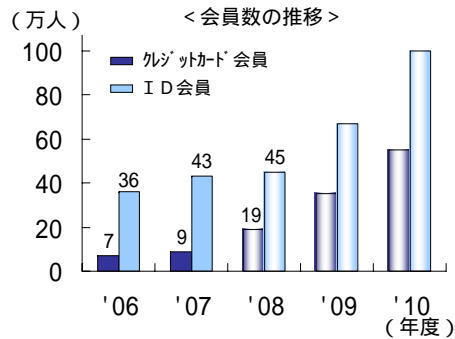


### 3. マレーシアにおける事業

2008年2月期 営業概況

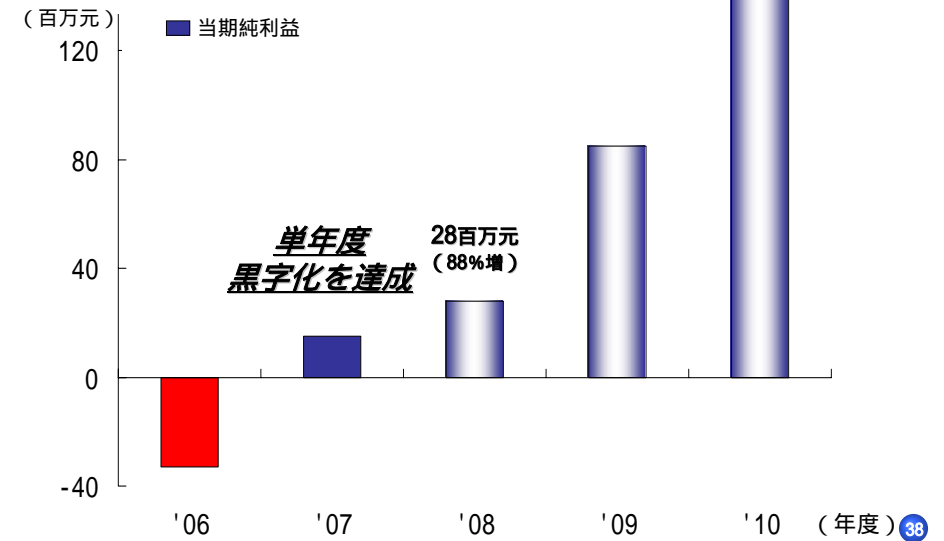
- ・現地証券取引所へ株式上場
- ・イスラム金融方式の社債を発行
- ・ゴールドカード、E T Cカード(タッチ&ゴー)の発行開始

	実績	前期比	円換算
営業収益	1億87百万リンギット	133%	64億円



### 4. 台湾における事業

カード会社設立以来、6年目にして単年度黒字化を達成



### 5. インドネシアにおける事業

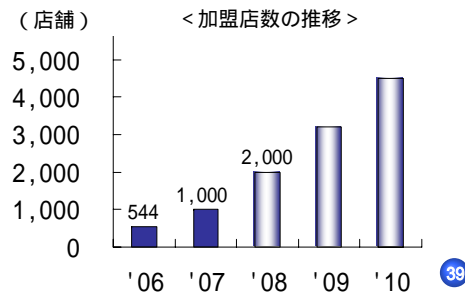
2008年2月期 営業概況

- ・エクスプレスカードの発行を開始
- ・二輪車ハイヤーパーチェスを開始
- ・ハイヤーパーチェス加盟店を拡大

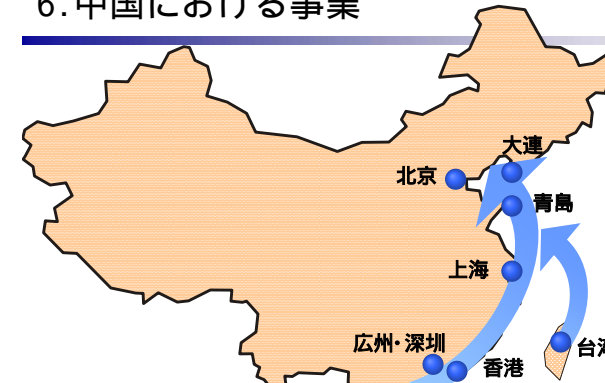


中期計画

年度	事業展開計画
2008年度	ジャカルタでの営業基盤確立
2009年度	クレジットカード発行開始
2010年度	カード会員数10万人を計画

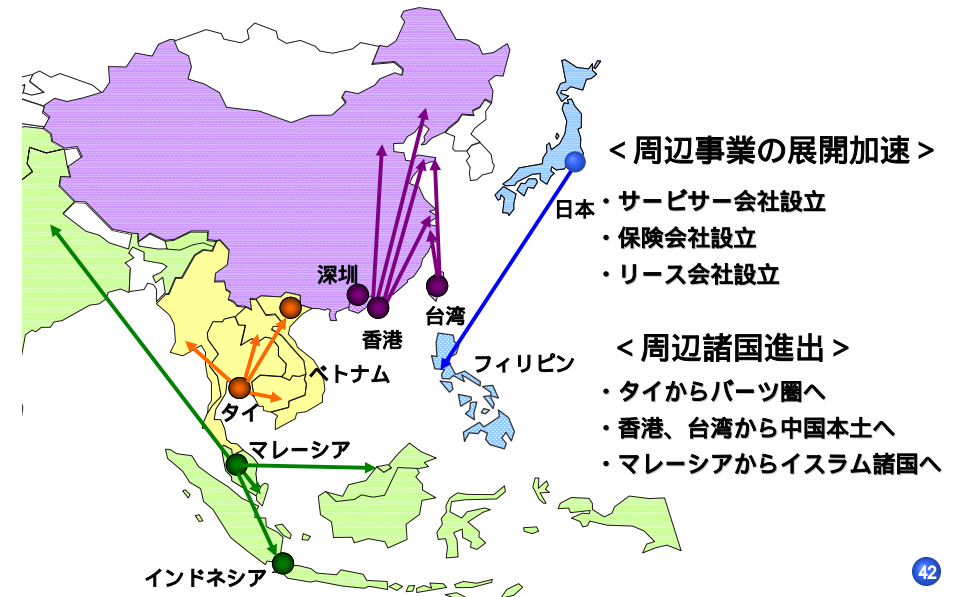
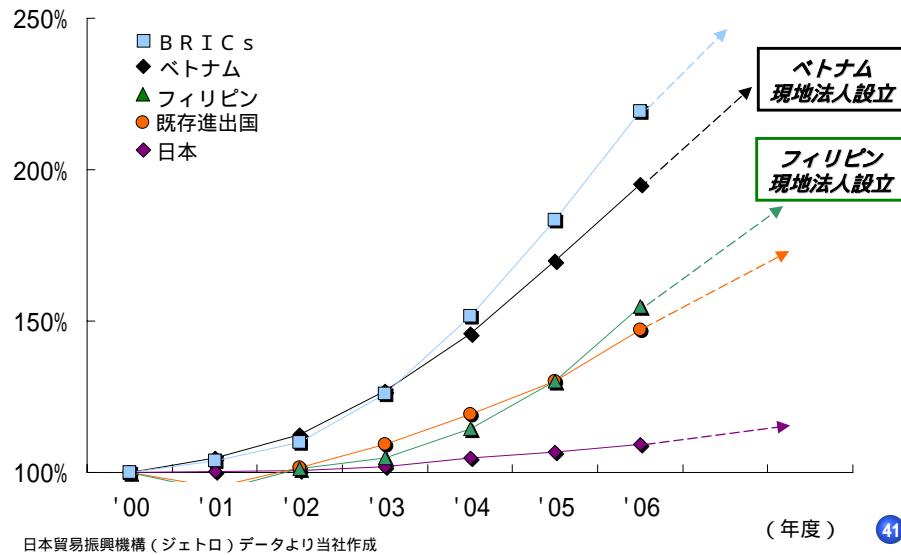


### 6. 中国における事業



2000年～	2007年～	2008年～	クレジットカード事業
コール・管理・審査事業	信用保証事業	ハウスカード事業	

<2000年を100としたGDP伸び率>



	連結		単独	
	予想	前期比	予想	前期比
取扱高	3兆1,100億円	113%	2兆7,600億円	114%
営業収益	1,858億円	103%	1,255億円	103%
営業利益	330億円	100%	200億円	102%
経常利益	331億円	100%	223億円	100%
当期純利益	157億円	89%	137億円	97%

本資料のうち、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予測等にかかわるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づいて想定、算出されたものであり、経済動向、業界での激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクをはじめとする様々な不確定要素を含んでおります。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。